

2012年11月7日

第29回航空燃料パイプライン消防総合訓練の実施について

今般、パイプラインでの航空燃料漏洩事故等を想定した総合訓練を四街道市消防本部と合同で、下記のとおり実施いたします。

当社では、航空燃料の漏洩や火災に備え、関連会社と自衛消防隊を組織しており、成田国際空港航空燃料パイプライン保安規程に基づく自衛消防訓練を毎月実施するとともに、さらに年2回、総合訓練として大規模な訓練を行っております。

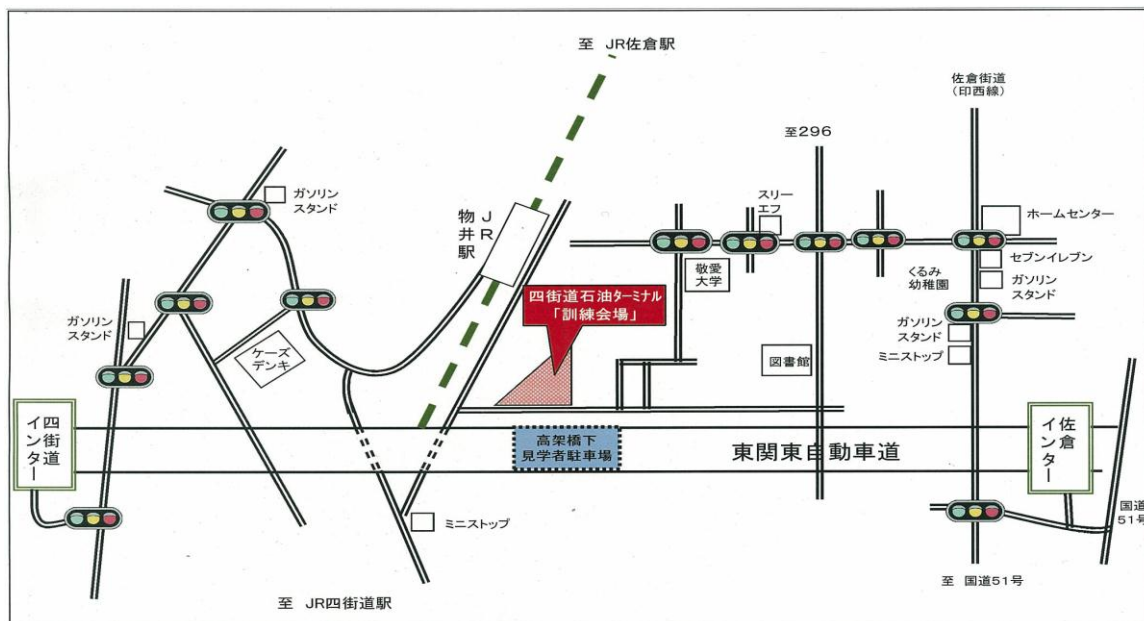
成田空港で使用する航空燃料は、主に東京湾内にある石油会社の製油所等からタンカーにより千葉港頭石油ターミナルに搬入された後、パイプラインにより成田空港まで輸送しています。

記

1. 日時 2012年11月14日(水) 14:00～15:00(荒天の場合:11月22日(木)の同刻)
2. 場所 成田国際空港(株)四街道石油ターミナル構内
3. 目的 成田国際空港航空燃料パイプライン事業施設の航空燃料流出事故発生時において、四街道石油ターミナル、千葉港頭石油ターミナル及び空港石油ターミナルの各自衛消防隊が一体となり、防災用資機材を活用して、その状況に応じた初期活動を迅速かつ確実に実行し得るように習熟するとともに、自治体消防との連携を強化しつつ防災意識の高揚を図り、人的及び物的被害を最小限に留めることを目的に実施するものである。
4. 主催 四街道市消防本部、成田国際空港株式会社
5. 参加機関等 四街道市消防本部、成田国際空港(株)各石油ターミナル自衛消防隊
計5機関(約100名) 化学消防車4台、指揮車等4台
6. 訓練項目
(1)関係機関相互間の情報伝達(2)初動処置(施設外観点検)(3)自衛消防隊出動
(4)漏洩油流出及び拡散防止措置(5)現場指揮本部の設置・運用(6)自治体消防との連携活動
(7)現場立入規制(8)負傷者搬送(担架)及び応急措置(9)火災防御(一斉合同放水)
7. 訓練概要

四街道石油ターミナル構内配管ヤードにおいて、地震により配管フランジ接合部から航空燃料が漏洩したとの想定で、初期対応、自衛消防隊出動、現場指揮所設置、消防現場指揮本部設置、漏洩油拡散防止、救護活動等を実施し、その後、余震発生に伴い何らかの原因で漏洩油に引火し火災が発生したとの想定で、化学消防車からの放水により、火災を鎮圧する等の訓練を実施する。

● 訓練会場位置図



【参考:2011 年度訓練状況】

【警ら班現場到着、立入規制】



【自衛消防隊現場到着】



【漏洩場所応急処置】



【負傷者救護活動】



火災発生一斉放水



総員集合

